

# 2024年度 愛知県病院薬剤師会がん部会 報告会

日時 2025年2月16日(日) 13:30~17:00

場所 安部ホール 301号室  
(JR名古屋駅より徒歩3分)

募集人数 150名

参加費 500円(現地支払い)



※参加登録は、下記のURLかQRコードにてお願いします。(2月10日締切)

<https://forms.gle/rbbDtjvvGrJ4Uu8J9>

「愛知県病院薬剤師会がん部会」は2014年に発足以来、がん薬物療法を学びたい方、専門・認定薬剤師の取得を目指す方、専門・認定薬剤師を取得し更に研鑽を目指す方など多くの会員が継続して参加しています。他院の薬剤師との連携や人間関係を構築し相互に切磋琢磨することで薬剤師としてのモチベーション維持に役立つ場、および日常臨床での疑問や相談に対応できる場として活動してきました。その成果は、学会発表や論文投稿など様々な形で積極的に発信しています。コロナ禍においてもWebミーティングの活用など時勢に応じた手法を用いて、グループ毎に積極的なコミュニケーションを図り、多くの成果を上げることができました。2023年度は、本報告会を4年ぶりに集合形式で開催し、盛況となりました。今年度も集合形式で開催し、今回は報告会終了後に懇親会開催を予定しております。是非多くの方々にご参加いただき、活発な意見交換を行いたいと思います。

愛知県病院薬剤師会 がん部会部会長 宮崎 雅之

開会の挨拶

名古屋大学医学部附属病院 宮崎 雅之

## がん治療の効果に関する臨床研究グループ (13:40~14:20)

座長 NHO豊橋医療センター 井上 裕貴  
名古屋記念病院 壁谷 めぐみ

当グループは「がん治療の効果に関する臨床研究」に取り組んでいます。今回、2021年度に開始した研究テーマについて報告します。いずれも日頃の疑問から臨床研究につなげた課題になります。今回報告する研究以外にも、様々な多機関共同研究を実施しております。研究にご興味のある先生方は、ぜひ気軽にご参加ください。

13:40-13:50 「がん治療の効果に関する臨床研究グループ活動報告」

NHO豊橋医療センター 井上 裕貴

13:50-14:05 「大腸がんFTD/TPI療法投与前の予後予測因子の検証」

稲沢市民病院 氏木 里依子

14:05-14:20 「アベマシクリブ+内分泌療法を施行される乳がん患者を対象とした高齢者機能評価の有用性に関する前向き観察研究の現状報告」

名古屋大学医学部附属病院 川原田 祐貴

## 支持療法に関する臨床研究グループ (14:20~14:40)

座長 三河乳がんクリニック 佐々木 俊則

当グループは14名で「支持療法に関する臨床研究」を中心に取り組んでいます。今回、新たに研究を開始する研究テーマについて発表を行います。下記の研究以外にも、ADC(抗体薬物複合体)の化学療法誘発性悪心嘔吐に関する研究や副作用マネジメントに関する研究を計画しております。臨床現場の疑問を昇華させて、一緒に研究してみませんか?ぜひお気軽にご参加ください。

「患者背景に応じたゾルベツキシマブの最適な制吐療法と投与速度の検討」

藤田医科大学 安藤 洋介

次ページあり

## 緩和療法に関する臨床研究グループ (14:50~15:20)

座長 一宮西病院 後藤 健志

当グループは「症状緩和班」「ポリファーマシー班」「サイコオンコロジー班」「オピオイドの自己管理調査班」の4班で構成されており、比較的若手が多いグループです。毎月1回、全体集会(集合もしくはオンライン)を行い、その後各班に分かれ、研究に取り組んでいます。また、初学者やこれから認定試験を受ける中級者のために緩和薬物療法認定薬剤師による研修会を行っています。今回の報告会ではグループ全体の活動を紹介した後に、学会発表準備中の「オピオイドの自己管理調査班」が発表させていただきます。

『医療用麻薬の自己管理:あなたはどうか実践しているか?』

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 末松 菜月

## Clinical question (CQ) グループ (15:20~15:40)

座長 一宮市立市民病院 岩田 智樹

当グループは臨床の現場で活かせる実践的な内容の学習や、医療(薬業)連携強化を目的とした活動をしています。今年度は、台風の影響により1月のみのワークショップ(WS)の開催となりました。WSの構成としては、外部講師による「トレーニングレポート作成のポイント」の講演、ワールドカフェ方式を取り入れた座談会、模擬症例からトレーニングレポート及び情報提供書の作成を行うSGDの3部構成で実施し、病院-保険薬局間での情報共有の工夫や連携ツールのよりよい活用方法について討議を行います。報告会発表時には、開催状況も併せて報告します。

『薬業連携強化の新しい形を目指して ~持続可能なワークショップ開催方式の検討~』

名古屋大学医学部附属病院 鷲野 友亮

## ツール作成グループ (15:40~16:00)

座長 KKR東海病院 川合 甲祐

当グループは17名でがん化学療法に携わる薬剤師の教育や業務支援となるツールの作成に取り組んでおり、必要とする情報を集約した「消化器癌 Reference book」を作成しています。今年度は、診療ガイドラインの改訂に併せ大腸癌編の更新を行い、現在はGIST編の更新を行っています。作成したツールは愛知県病院薬剤師会ホームページ([https://apshp.jp/about/exp\\_ph1\\_6.php](https://apshp.jp/about/exp_ph1_6.php))にて会員に向けて順次公開しています。

『進化する業務支援ツール「消化器癌Reference book」~大腸癌改訂の舞台裏~』

大同病院 村山 遥香

## 論文採択者からの報告 (16:00~16:20)

座長 名城大学 築山 郁人

がん部会では日常臨床での疑問を解決すべく、様々な観点からの臨床研究に取り組んでいます。今年度は、「がん治療の効果に関する臨床研究グループ」の研究課題が英文誌 *in vivo* に採択されました。今回、筆頭著者より採択論文の研究内容および論文が採択されるまでの取り組みについて報告いたします。

『大腸癌術後補助化学療法XELOX施行患者における血小板減少発現とAPRIとの関連性に関する調査』

名古屋大学医学部附属病院 加藤 奈波

## 特別講演 (16:20~16:50)

座長 名古屋大学医学部附属病院 宮崎 雅之

『がん薬物療法に関わる薬剤師への期待』

名古屋大学医学部附属病院薬剤部長・教授 池末 裕明先生

閉会の挨拶

トヨタ記念病院 久田 達也

- ◇本会は日病薬病院薬学認定薬剤師制度II-6領域(2単位)の単位を取得可能です。
- ◇単位取得には報告会終了後にキーワード提出と必要になります。詳細は終了時に説明いたします。
- ◇取得した個人情報は、日本病院薬剤師会への受講者名簿を提出する目的でのみ使用いたします。
- ◇参加費:500円(現地にて現金支払い)

【主催】(一社)愛知県病院薬剤師会



# 会場へのアクセス



※1 一階にローソンの入っているビルです。

## 【本報告会に関するお問い合わせ窓口】

愛知県病院薬剤師会 がん部会 堀田和男

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 愛知医科大学病院 薬剤部

TEL:0561-62-3311 E-mail:k2hotta@aichi-med-u.ac.jp